

式 辞

宮崎国際大学新入生の皆様および大学院修士課程1期生の皆様、御入学おめでとうございます。宮崎国際大学全教職員を代表してお祝いを申し上げます。皆さんは新型コロナウイルスによる様々な制約や警戒のなかで勉強し、みごとご入学あるいは進学されたことに敬意を表する次第です。そして、皆さんの努力を愛情深く支えてこられたご家族や関係者の皆様に、心よりお礼とお祝いを申し上げます。

ご存じのように、コロナ禍では高校生や大学生のライフスタイルの多くが失われました。ライブやイベントへの参加、修学旅行を含めた国内外の旅行や海外留学、友人とのランチや会食、クラブ活動他、多々ございます。もちろん教育スタイルの一部も失われました。これから皆さんにはぜひ、新たな青春時代を築いて頂きたいと思います。

ところで、これからの大学4年間あるいは大学院2年間は皆さんにとって社会に出て活躍するための準備期間、あるいは自分の今後の人生設計のための準備期間として、極めて重要なものです。専門的知識はもちろんですが、常に客観的な視点と批判的な思考力を培って頂き、自分を客観的に見る能力、つまりメタ認知能力を十分に身につけて頂きたいと思います。また、大学院入学の皆さんは、大学や社会で培ってきた力をさらに研磨し、将来の指導者としての能力を身につけてください。

さて、現代社会は、一言で言えばグローバル社会と情報化社会です。政治・経済・文化など、さまざまなレベルで国境を越えたやり取りが行われるのは当たり前の時代になっています。新型コロナウイルスの全世界での拡散速度や世界的なワクチン普及、また、多国の情報や個人情報や個人情報が瞬時に世界に拡散することはこれらを実感させる例かもしれません。このような急速な近代社会の進歩と裏腹に、一方では多くの課題も山積してきています。現在でも毎日の食べるものが手に入らない極度の貧困層が世界には約5~7億人いると言われています。また、世界的な環境問題や地球の温暖化問題、エネルギー問題あるいは最近の紛争や戦争なども世界的な問題です。

このような世界的問題を解決するには、少なくともダイバーシティが重要だと考えられています。ダイバーシティの意味は「組織において、国籍や性別、年齢などの違いを受け入れ、それぞれの多様な価値観や発想を活かすこと」です。お互いがお互いを尊重し合うことは非常に重要なことです。宮崎国際大学で、皆さんはグローバル社会や情報化社会の仕組みを理解し、ダイバーシティの理念をしっかり身に付けて頂きます。

大学では、皆さんがこれまで受けてきた中学校、高等学校の教育方法とは異なるスタイルでの教育を受けることになります。いままでの受動的な学びの姿勢、つまり先生が授業の準備を事細かく行い、きめ細かく教えることから一転し、学生の皆さんが自ら疑問を持ち、自ら調べ、自ら解答を出すという能動的な学びの姿勢にリセットする必要があります。教員は皆様をサポートして的確なアドバイスをすることになります。つまり教員主導から学生主導に変わることを理解してください。本学の特色は、先生方が学生の一人一人を大切に手塩にかけて見守り、適切なアドバイスを行うことです。

また、大学院では、修士論文研究が大きな比重を占めます。自ら課題を見つけ、研究調査し、自ら結果を得、それを考察してまとめなければなりません。能動的、積極的に行動してください。

さて最後に、学長の式辞としてはふさわしくないかもしれませんが、私の経験から学んだこととお話しし、参考にして頂ければと思います。

もし、大学や社会の中で自分の意見を聞いて欲しいのであれば、まずは人の意見を聴ける人間になってください、そうすれば自分の意見を沢山聞いてもらえるかも知れません。もし、自分を認めて欲しいのであれば、周囲の人や他人を認める人間になってください。そうすれば自分を認めてもらえるかも知れません。もし、自分が幸福になりたいのであれば、周囲の人を幸福にしてあげてください。そうすれば、自分も幸福になれるかも知れません。人は謙虚さを失ったとき、人格も失うかも知れませんし、相手を打ち負かして喜ぶ時は、自分自身には負けた時かも知れません。大学の中では、あなた達は未熟です。幾らでも恥をかいて構いません。質問することは一時の恥で済みますが、知らないままにすることは一生の恥になるかも知れません。

寂しさに打ち勝つ強さ、失敗をおそれない強さ、質問することを恥じない強さを持ち、躊躇することなく新たな環境に飛び込み、かけがえのない人たちと出会い、どん欲に学び、その中で自分を磨き上げ、大学で必ず自分の将来の基盤を作ってください。心から期待をしています。

本日は、ご入学おめでとうございます。

令和5年4月6日

宮崎国際大学学長 村上 昇